

## 10年後、僕の担当をしてください！



心のこもった『まさる君』の手紙

平成30年12月、自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 岡山3海佐）に勤務する広報官（高杉2陸曹）のもとに一通の手紙が届いた。

手紙の送り主は、厚木市内に住む5歳の『まさる君』で、中学生の兄と一緒に陸上自衛隊高等工学校の説明会に参加した際、説明会に飽きてしまった『まさる君』を広報官が親身になって預かり、手を繋ぎながら一緒に時間を過ごしたことで、自衛官に強い憧れを抱いたようであった。

その後、厚木管内のイベントで広報官と再会した『まさる君』は、迷彩服姿の広報官に一目散に駆け寄り抱きついて「かっこいい！」と言ってくれたり、通っている保育園では毎日、「将来は自衛官になる！」と保育士や周りの子に話をし、すっかり自衛官に魅了されたようである。

そんな中、この度『まさる君』の兄が広報官と年末年始に面接の猛特訓に励んで、見事、陸上自衛隊高等工学校校の推薦試験に合格した姿を間近で見ていた『まさる君』から、「僕も10年後は自衛隊の試験を受けるから、その時は担当してください！」と、とても嬉しい言葉をもらい、広報官は胸を熱くした。

受験した兄からも、「時間や曜日を問わず、とても親身になって面接指導や相談に応じてくださりありがとうございました。入校してからもよろしくお願います」と、信頼を得ることができた。

厚木募集案内所は、「対象者に対して親身になって対応したことで大きな信頼を得ることができた。これからも国民を守る自衛隊の仕事の大切さを多くの人に伝え、次の世代に募集を繋げていきたい」としている。

## 海上自衛隊厚木基地航空部隊見学へ招待

自衛隊神奈川地方協力本都市ケ尾募集案内所（所長 近藤1空尉）は12月21日（金）、海上自衛隊入隊予定者の石原 愛珠（いしはら まなみ）さんと受験予定者の藤岡 義希さん（ふじおか よしき）の2名を海上自衛隊厚木航空基地へ招待した。これは海上自衛官の仕事の間近で見学してもらい、海上自衛隊航空部隊の仕事について理解を深めてもらうと企画したものである。

平成30年3月まで厚木航空基地で勤務をしていた井坂広報官と共に、見学者達は在日米海軍厚木航空施設と共有の厚木航空基地へ入門する際、身分証の提示を求められ、緊張した様子で提示していたのが印象的だった。

基地内で滑走路や航空機が見えてくると「とても広いですね。予想以上です」と基地の広さに驚いていた。第51航空隊の協力を得て、先輩自衛官より仕事内容について話を聞いたり、格納庫内のP-1哨戒機の見学をしたりと充実した時間を過ごした。見学者達は初めての体験に目を輝かせ「飛行機をこんなに近くで見たのは初めてです」と機体に見入っていた。

見学を終えた藤岡さんからは「自衛隊にこんな職場もあるんですね。航空部隊を希望したいです」と厚木基地の魅力を理解してもらえたようだった。

市ケ尾募集案内所は「海上自衛隊厚木航空基地に招待できたことは、入隊の意志固めに有効だった。合格者達の不安払拭に努めると共に、今後の受験者獲得へと繋げていきたい」としている。

厚木航空基地の正門前で記念撮影  
受験予定の藤岡さん（左）と  
海上自衛隊入隊予定の石原さん（右）

P-1哨戒機を見学



資料館を見学